

## 方向性1 南区独自の防災力向上モデル ～“あたらしい共助”の輪を広げよう～

No.	1	2	3
事業名	南区自主防災組織連絡会	小学生防災リーダー養成講座	防災士養成プログラム
所管課	南・自治推進課	南・自治推進課	南・自治推進課
目的	各校区(地区)の自主防災組織間の連携や情報交換の場を設けることで、各校区(地区)の取組を相互に参考にしあい、南区防災力の向上を図る。	子どもの頃から防災に興味を持ち、将来地区防災の担い手となる人材を養成し、各校区で活躍してもらう。	地域防災力の強化に向けた取り組みとして、「防災講習」と「防災士養成講座」を開催し、地域防災を担う人材を育成するとともに、「自助・共助」の意識の醸成につなげる。
事業内容	各校区(地区)の防災の実務者に対して市からの情報提供を行うとともに、防災研修会の実施や各校区(地区)の防災訓練の見学を行う。	防災の基礎知識を学ぶ「防災オリエンテーション」と、災害による避難時の疑似体験を行う「防災デイキャンプ」を実施する。	各校区(地区)自主防災組織から推薦いただいた次世代の地域防災の担い手に、防災講習の実施と防災士の資格を取得させる。
令和5年度実施状況	9月16日に第1回連絡会を実施した。各自治連合会19校区(地区)に加え竹城台東校区も参加し全20校区が一堂に会した。 各校区(地区)の自主防災組織の実務者計65人が出席し、①自主防災組織と活動についての講座②先進的取組を行っている3校区からの防災取組事例発表③その他の各校区(地区)からの今年度の防災訓練等取組予定の発表を行った。	8月21日、22日に「夏休み子ども防災教室」として防災オリエンテーション、11月3日に防災デイキャンプを実施した。校区(地区)自治連合会からの被推薦者、一般募集あわせて、両事業ともに約20人の子どもたちが参加した。 オリエンテーションでは、防災資機材の使用体験や講習を実施し、デイキャンプでは災害時の避難時疑似体験を行った。 オリエンテーションには、保護者の他にも南区の複数の小学校から教員が見学に来られていた。(榎塚台小、新檜尾台小)アンケート結果などから、参加者やその保護者の方からも好評であった。 10月28日に、三原台校区健全育成協議会が中心となり、三原台中学校で全校生徒約600人を対象に防災授業を実施した。南区は企画段階からサポートし、当日の運営もバックアップした。	9月16日に「防災講習」を実施した。校区(地区)自治連合会からの被推薦者35人中29人が参加し、災害の基礎知識や地域防災についての講習を受講した。また、各校区自主防災組織の防災訓練の予定について周知し参加を促した。 欠席した6人については、「防災講習」に使用した資料の送付とレポート提出依頼を行った。
課題	3校区による防災取組の発表時など、他校区での活動内容を知ることで良い刺激となり、自身の校区活動と比較できる機会となったが、参加者が多かったこともあり、講義形式を取らざるを得ず、意見交換が難しかった。	広報紙・ホームページへの掲載、学校を通じた募集チラシの電子配布を行ったが応募者が少なく、急遽ポスター掲示などを依頼した。 効果的な周知方法の検討が必要である。	今回、防災士を取得する方々に対して、地域防災に関わっていただくため、継続して防災訓練などの予定を周知し、地域防災の取組への参加を促していくことが重要である。
今後の展開	2月に第2回連絡会を開催する。参加者数を絞り、参加者同士で意見交換ができる形態での実施を検討する。 次年度以降も、20校区が参加する形で連絡会を継続的に実施していく。	「夏休み子ども防災教室」に見学に来られていた教員が在籍する榎塚台小学校において、4年生約60人を対象に防災授業を実施する予定である。	令和6年2月3日、4日の二日間で防災士養成講座(資格取得講座)を実施する。 令和6年度は、防災士養成講座は実施しないが、今年度の参加者に対しての地域防災の活動についての周知は継続しておこなうことと合わせ、防災訓練への参加状況の確認など効果検証を行う。